

**Motorola**  
**コンプライアンス コネクト スプレッドシート**  
**ユーザー ガイド v7.0**  
**2013 年 5 月 10 日**

## 目次

---

はじめに.....	1
一般的なスプレッドシート入力プロセス .....	1
ソフトウェア要件 .....	3
コンプライアンス コネクトを開く .....	3
スプレッドシートのタブの説明 .....	5
<b>スプレッドシートの入力（スプレッドシートの青色のタブ）.....</b>	<b>6</b>
一般的なデータ入力のヒント .....	6
一般的なデータ入力プロセスのフロー .....	8
[General Information]（一般情報）タブの入力 .....	9
完全宣言または部分宣言：コンポーネント情報に関する [Part Tree]（部品ツリー）タブ .....	14
完全宣言のみ：[Materials]（材料）タブ .....	17
完全宣言のみ：[Part Detail]（部品詳細）タブ .....	23
部分宣言のみ：[Motorola Intelligent Query]（Motorola インテリジェント照会）タブ .....	28
完全宣言または部分宣言：[Certify and Export]（認証とエクスポート）.....	30
<b>[Utilities]（ユーティリティ）タブ .....</b>	<b>32</b>
タブ区切りのテキスト ファイルのインポート .....	32
タブ区切りのテキスト ファイルのエクスポート .....	34
Motorola 構成ファイルのインポート .....	34
<b>トラブルシューティングに関する FAQ.....</b>	<b>35</b>
VB コンパイル エラー .....	35
宣言レベルの検証エラー .....	36

## はじめに

---

サプライヤがコンプライアンスに関するレポート作成の要件を満たすことができるように、Motorola Solutions では、“インテリジェント コンプライアンス コネクト” スプレッドシートと呼ぶ Excel ソリューションを使用しています。

## 一般的なスプレッドシート入力プロセス

---

- 1) 受信したファイルを開いてマクロを有効にします。
- 2) [General Information] (一般情報) タブ内をすべて入力します。
- 3) 完全材料宣言および部分材料宣言を入力する場合：
  - i) 要求された部品ごとに [Part Tree] (部品ツリー) タブ内をすべて入力します (該当する場合は下位コンポーネントも入力)。
  - ii) 最下位 (葉) のコンポーネントで使用される材料ごとに [Materials] (材料) タブ内をすべて入力します。
  - iii) 各最下位コンポーネントをそれぞれの材料にリンクさせて、[Part Detail] (部品詳細) タブ内をすべて入力します。
  - iv) [Motorola Intelligent Query] (Motorola インテリジェント照会) タブ内をすべて入力します。
  - v) [Certify and Export] (認証とエクスポート) ボタンをクリックし、“`.mcc`” ファイルを顧客に送信します。
- 4) 完全材料宣言を入力する場合
  - i) 要求された部品ごとに [Part Tree] (部品ツリー) タブ内をすべて入力します (該当する場合は下位コンポーネントも入力)。
  - ii) 最下位 (葉) のコンポーネントで使用される材料ごとに [Materials] (材料) タブ内をすべて入力します。
  - iii) 各最下位コンポーネントをそれぞれの材料にリンクさせて、[Part Detail] (部品詳細) タブ内をすべて入力します。

- iv) [Certify and Export] (認証とエクスポート) ボタンをクリックし、  
“.mcc” ファイルを顧客に送信します。
- 5) 部分材料宣言を入力する場合
  - i) 要求された部品ごとに [Part Tree] (部品ツリー) タブ内をすべて入力します (該当する場合は下位コンポーネントも入力)。
  - ii) [Motorola Intelligent Query] (Motorola インテリジェント照会) タブ内をすべて入力します。
  - iii) [Certify and Export] (認証とエクスポート) ボタンをクリックし、 “.mcc” ファイルを顧客に送信します。

## ソフトウェア要件

---

コンプライアンス コネクト スプレッドシートを開くには、次のバージョンの Microsoft オペレーティング システム/Excel のいずれかをユーザーが保有している必要があります。

- Windows XP/Excel 2003 以上（推奨）
- Windows XP/Excel 2007 以上（推奨）
- Windows Vista/Excel 2007 以上（推奨）
- Windows 7/Excel 2007 以上（推奨）

## コンプライアンス コネクトを開く

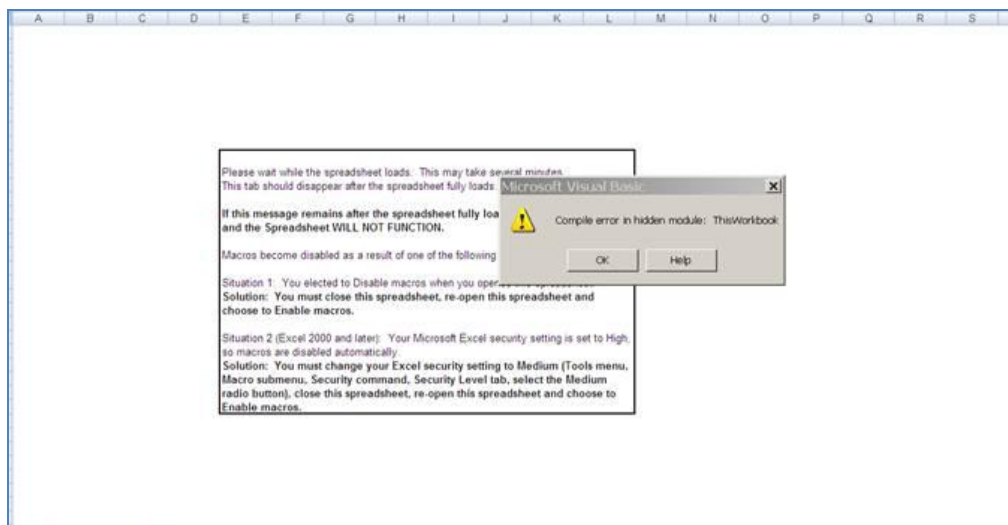
---

スプレッドシートを開くたびに、ユーザーはマクロを有効にするか、無効にするのかを選択するように求められます（Microsoft Excel のマクロ セキュリティの設定に応じて異なる）。ここでは、**マクロが有効になっている**ことが不可欠です。無効になっているとスプレッドシートは機能しません。マクロが実行されない場合は、Microsoft Excel のセキュリティ設定を変更してマクロを有効にする必要があります。

### 注意事項:

長いファイル名が原因で発生する実行時エラーの問題を回避するため、スプレッドシートの作業用コピーをデスクトップに保存しておくことをお勧めします。

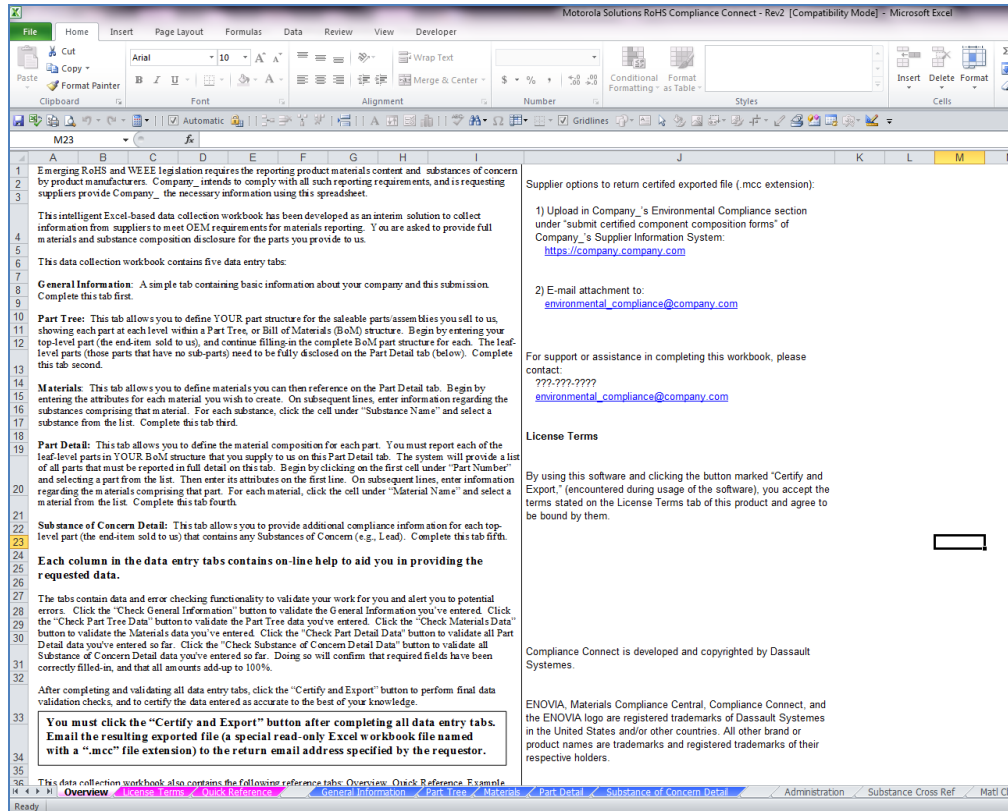
ユーザーが次に示す問題/エラー メッセージに遭遇した場合は、非表示の .exd キャッシュ ファイルが原因です。



このエラーを解決するには、.exd ファイルを削除する必要があります。これは、.exd ファイルには Microsoft Office ファイルとともにインストールされたコントロールに関するキャッシュ情報が保存されているためです。.exd ファイルを削除するとファイルの処理速度が速くなります。これらのファイルの場所はオペレーティング システムごとに異なり、インストールされている Office のバージョンによっても異なります。コンピュータのキャッシュからこのファイルをクリアする正確な手順については、30 ページを参照してください。

## スプレッドシートのタブの説明

スプレッドシートを開くと、多数の Microsoft Excel ワークシートが表示され、一番下には次のように色分けされたタブが並んでいます。



ピンク色 - すべてのユーザーが知っておく必要のある情報

- [Overview] (概要) - スプレッドシートの目的と使用法について説明します。
- [License Terms] (使用許諾契約の条項) - スプレッドシートを使用するための契約です。
- [Quick Reference] (クリック リファレンス) - 各 [Overall Help] (ヘルプ) タブへのハイパーリンクが示され、スプレッドシート入力に関する一般的な手順について概説しています。

青色 - ユーザーによるデータ入力 (次のセクションで詳述)

- サプライヤに関する一般情報
- [Part Tree] (部品ツリー) - 各部品に関する部品表のレイアウトです。
- [Materials] (材料) - その部品で使用されたすべての材料の化学組成を示す材料ライブラリです。

- [Part Detail] (部品詳細) - 部品を材料にリンクさせます。[Certify and Export] (認証とエクスポート) ボタンが含まれています。
- [Motorola Intelligent Query] (Motorola インテリジェント照会)
- [Substance of Concern] (懸案事項) - このタブは通常、サプライヤ側で新しい部品番号やコンプライアンス情報の変更を提案する場合に使用されます。Motorola がこのタブでデータ入力を行う必要はありません。ユーザーもこのタブで値を入力する必要はありません。

**緑色** - ユーザーが入力する各タブの例を表示

- [Part Tree] (部品ツリー) の例
- [Materials] (材料) の例
- [Part Detail] (部品詳細) の例

**その他のタブ**

- [Administration] (管理)
- [Part Tree Overall Help] (部品ツリーのヘルプ)
- [Materials Overall Help] (材料のヘルプ)
- [Part Detail Overall Help] (部品詳細のヘルプ)
- [Utilities] (ユーティリティ)
- [End of User Tabs] (ユーザー タブの末尾) - ユーザー タブの末尾を示します。これより右側の残りのタブは ENOVIA 社専用であるため、ユーザーは無視してください。

## スプレッドシートの入力 (スプレッドシートの青色のタブ)

---

### 一般的なデータ入力のヒント

---

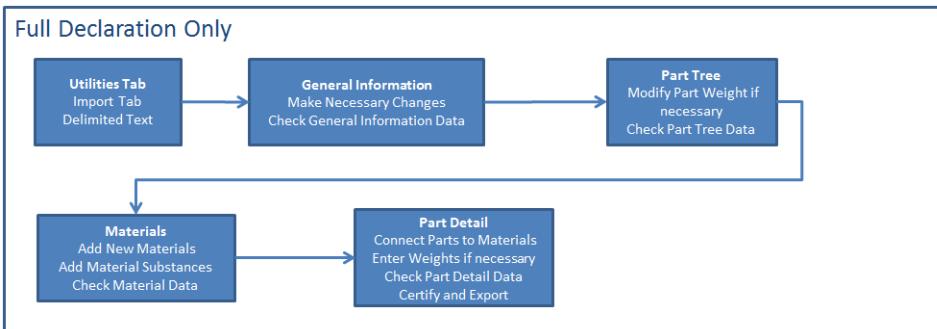
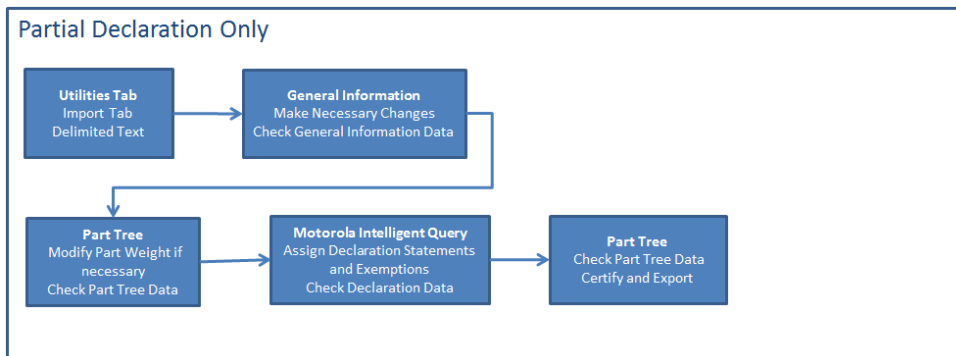
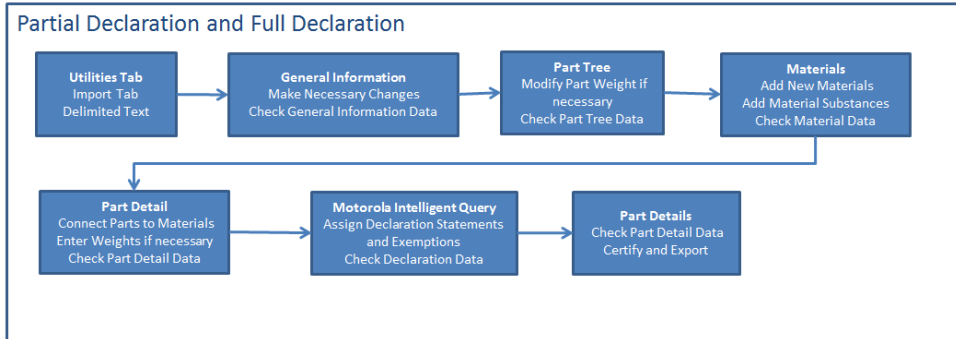
1. 各データ入力タブには、必須の入力フィールドとオプションの入力フィールドが含まれています。見出しが**太字**であれば**必須フィールド**です。ただし、多くの必須フィールドでは「N/A」と入力できることに注意してください。「N/A」と入力できるかどうかについては、「列のヘルプ」というデータ フィールド ヘルプ ボックス (画面左上に表示) と要求者のデータ規格を参照してください。





## 一般的なデータ入力プロセスのフロー

次の 3 つのフロー チャートには、詳細なデータ入力プロセスのフローが示されています。これらのチャートは、入力するデータの種類に応じてデータ入力プロセスを実行するためのガイドラインとして使用できます。



## [General Information](一般情報) タブの入力

ユーザーはこのタブで、住所や連絡先情報など企業に関する一般情報を入力します。詳細については、「表 1 [General Information](一般情報) タブのガイダンス」を参照してください。

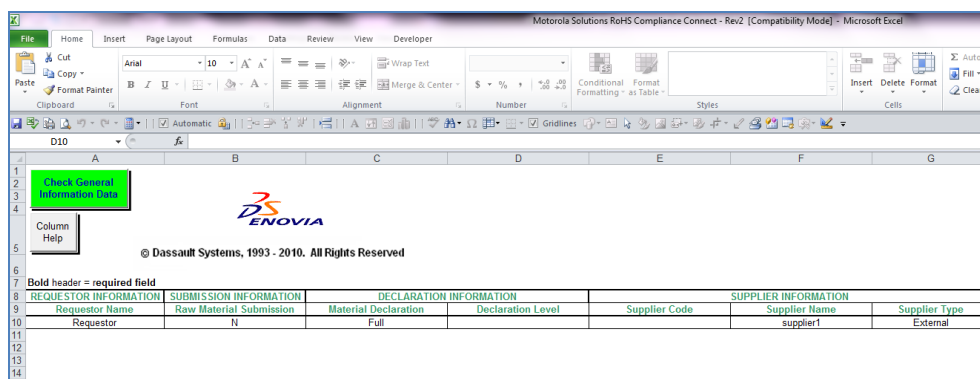
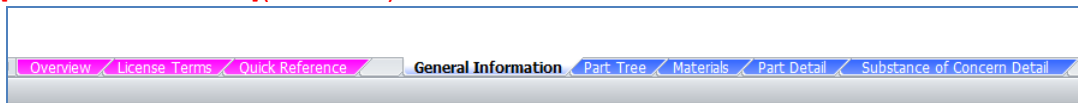


表 1 [General Information](一般情報) タブのガイダンス			
列名	下位列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
Requestor information (要求者情報)	Requestor Name (要求者名)	顧客名。データを要求している企業名です。	必須
Submission information (提出情報)	Raw Material Submission (原材料の提出)	原材料組成または未完成材料 (つまり鋳型、管材) 組成だけを提供する場合は [Y] を選択します。 部品/コンポーネント情報を提供する場合は [N] を選択します。	必須
Declaration Information (宣言情報)	Material Declaration (材料の宣言)	材料および物質のデータを提供する場合は [Full](完全) を選択します。「はい/いいえ/適用除外付きではい」という宣言文だけを提供する場合は、[Partial](部分) を選択します。  事前入力済みのファイルが提供された場合、このフィールドはインポート時に自動的に入力されます。	必須

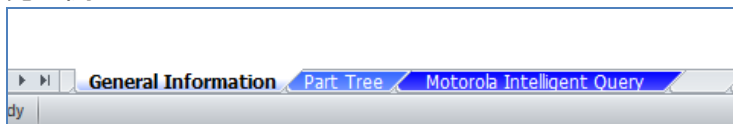
表 1 [General Information](一般情報) タブのガイダンス			
列名	下位列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
	Declaration Level (宣言レベル)	はい/いいえの宣言文を提出するときに考慮する「コンプライアンス定義」または規制を選択します。選択肢に応じて、スプレッドシート全体のタブが変わります (たとえば、プルダウンメニューから [RoHS/MSI W18] をクリックした場合、[RoHS] が [Declaration Level](宣言レベル) ボックスに表示され、[Motorola Intelligent Query](Motorola インテリジェント照会) タブが [Substance of Concern Detail](懸案事項の詳細) タブの後ろに表示されます)。  事前入力済みのファイルが提供された場合、このフィールドはインポート時に自動的に入力されます。	必須
Supplier information (サプライヤ情報)	Supplier Code (サプライヤコード)	顧客が把握しているサプライヤコードを入力します。これは MSI “epims id” 番号とも呼ばれます。	必須: EDM ペナンチームが事前入力します。
	Supplier Name (サプライヤ名)	企業名を入力します。	必須: EDM ペナンチームが事前入力します。
	Supplier Type (サプライヤタイプ)	ユーザーが要求者の工場または部門に所属している場合は、[Internal](内部) を選択します。ユーザーが要求者のサプライヤである場合は、[External](外部) を選択します。	必須
Supplier contact information (サプライヤの連絡先情報)	Name, E-mail, Telephone, Fax (名前、電子メール、電話、ファックス)	当該データの責任を担い、提供された情報に関する質問に回答できる担当者の連絡先情報を入力します。	必須

表 1 [General Information](一般情報) タブのガイダンス			
列名	下位列名	情報の説明	ステータス (必須または オプション)
Additional Supplier Contact Information (追加サプライヤの連絡先情報)	Title, Department, Mail Code, Cell (役職、部門、メールコード、班)	連絡先として列挙された個人に関する追加情報です。	オプション
Supplier Contact Address Information (サプライヤの連絡先住所情報)	Address 1, Address 2, City, State/Province, Zip/Postal Code, Country (住所 1、住所 2、市町村、都道府県、郵便番号、国)	連絡先として列挙された個人に関する追加情報です。	オプション

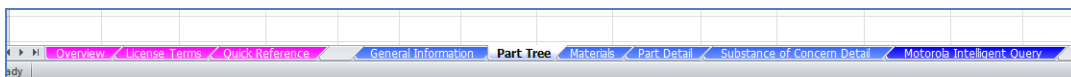
[General Information](一般情報) タブの入力内容に基づく表示例:



完全開示のみ



部分開示のみ

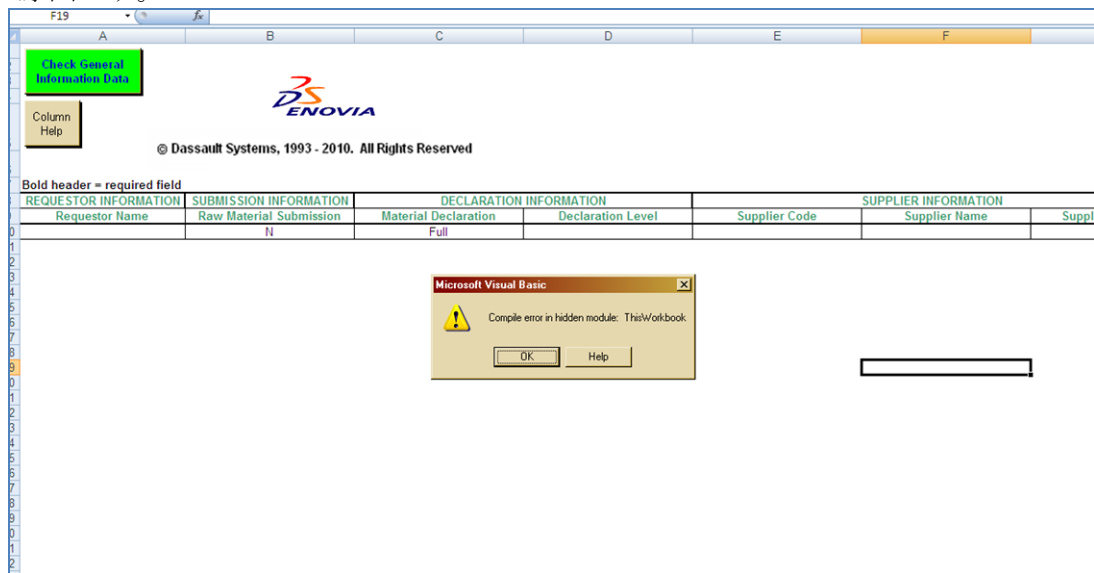


完全開示 + 部分開示

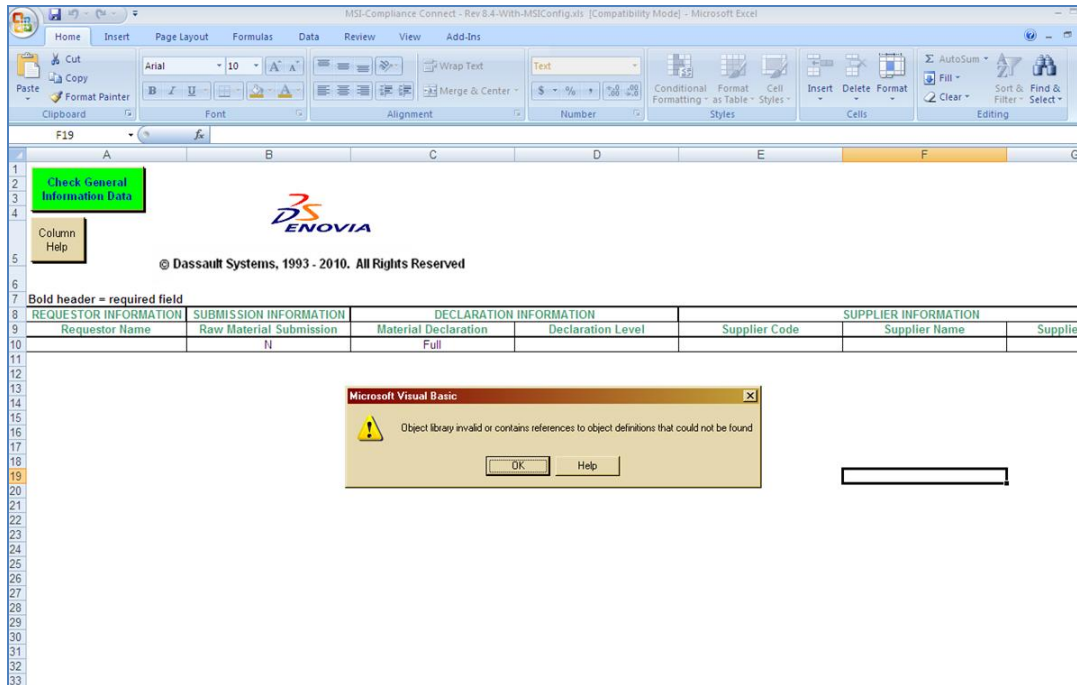
すべての情報を入力したら、[Check General Information Data](一般情報データのチェック) ボタンをクリックして、このタブがすべて適切に入力されていることを検証します。データのチェックが完了したら [Part Tree](部品ツリー) タブに進みます。

注意事項:

このページでの作業中に、ユーザーが以下の 2 つのスクリーン ショットに示す問題/エラー メッセージに遭遇した場合は、非表示の .exd キャッシュ ファイルが原因です。



このエラー メッセージに対して [OK] をクリックすると、次のようなメッセージが表示されます。これもまた非表示の .exd キャッシュ ファイルが原因です。



これらのエラーを解決するには、.exd ファイルを削除する必要があります。これは、.exd ファイルには Microsoft Office ファイルとともにインストールされたコントロールに関するキャッシュ情報が保存されているためです。.exd ファイルを削除するとファイルの処理速度が速くなります。これらのファイルの場所はオペレーティング システムごとに異なり、インストールされている Office のバージョンによっても異なります。コンピュータのキャッシュからこのファイルをクリアする正確な手順については、30 ページを参照してください。

## 完全宣言または部分宣言：コンポーネント情報に関する [Part Tree] (部品ツリー) タブ

[Part Tree] (部品ツリー) タブは、顧客に供給された市販部品の部品構造を定義するために使用します。部品表 (BOM) 構造の部品ツリー内の各レベルが、このタブで表されます。部品ツリーでは、まず最上位の市販部品およびコンポーネントの情報を [Saleable Parts] (市販部品) の各フィールドに入力します。詳細については、「表 2 [Part Tree] (部品ツリー) タブ – 市販部品のガイドンス」を参照してください。

表 2 [Part Tree](部品ツリー) タブ – 市販部品のガイドンス (赤色の見出し)

列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
Customer Part Number (顧客部品番号)	顧客の市販部品番号です。	必須
Customer Part Revision Level (顧客部品改定レベル)	部品の改定番号です。改定番号がない場合は「N/A」と入力します。	必須
Customer Part Revision Date (顧客部品改定日)	部品の改定が有効になった日付です。改定日がない場合は「N/A」と入力します。	必須
Part Name (部品名)	部品の説明です。	必須 (原材料サプライヤの場合は N/A)



表 2 [Part Tree](部品ツリー) タブ – 市販部品のガイダンス (赤色の見出し)		
列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
Your Part Number (自社部品番号)	ユーザー社内の部品番号です (顧客の部品番号と同じである必要はありません)。	必須
Your Part Revision Level (自社部品改定レベル)	ユーザー社内での部品の改定レベルです。使用していない場合は「N/A」と入力します。	必須 (原材料サプライヤの場合は N/A)
Your Part Revision Date (自社部品改定日)	ユーザー社内のシステムで部品の改定が有効になった日付です。使用していない場合は「N/A」と入力します。	必須 (原材料サプライヤの場合は N/A)
Your Fabrication Plant (自社製造工場)	その部品を製造している工場名の一覧をカンマで区切って入力します。各工場は二重引用符で囲みます (“工場 1”、“工場 2”)。	オプション (原材料サプライヤの場合は N/A)
Measured Part Weight Amount (部品総重量測定値)	市販部品の測定重量 - 部品の仕上がり重量 (梱包を除く) です。	必須 (原材料サプライヤの場合は N/A)
Measured Part Weight Unit (部品重量測定単位)	前の列で入力した測定重量の測定単位 (g、kg、または lb) をプルダウン リストから選択します。	必須 (原材料サプライヤの場合は N/A)
Measured Part Weight Per length/area/volume Unit (長さ/面積/体積単位あたりの部品重量測定値)	市販の個別部品である場合は [each](各個) に設定します。[Measured Part Weight Amount](部品総重量測定値) が長さ、面積、または体積の関数である、ペンキ、接着剤、潤滑油などの市販のバルク品である場合は、適切な単位あたりの値に設定します。	必須 (原材料サプライヤの場合は N/A)
Computed Part Weight (計算部品重量)	市販部品のコンポーネントの総重量に基づいて計算されます。[Measure Part Weight Amount](部品総重量測定値) と比較してください。 計算重量は、[Part Tree](部品ツリー) タブと [Part Detail](部品詳細) タブのいずれかで入力される子コンポーネントの重量を使用して計算されます。 <b>注意:</b> [Part Detail](部品詳細) タブがすべて入力されている場合は、[Computed Part Weight](計算部品重量) 列の値が間違ってい	自動入力 (原材料サプライヤの場合は N/A)

表 2 [Part Tree](部品ツリー) タブ – 市販部品のガイダンス (赤色の見出し)		
列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
	るか、単に 0 グラムである可能性があります。	
列 M ～列 S	製造情報を書き込むフィールドです。	非必須
Eligible Product Application (対象製品用途)	部品について要求できる対象製品レベルの用途を、ポップアップリストから選択します。	非必須

部品が複数部品のアセンブリである場合は、部品表に従って完全な部品の内訳を入力します。この情報は、ワークシートの右側にある [Sub-Part] (下位部品) のフィールドに入力する必要があります。下位部品のレベルはそれぞれ段階的に下がっていくように、その親アセンブリの 1 行下から始める必要があります。スプレッドシート全体で、灰色のフィールドはデータを入力する必要がありません。部品が複数部品のアセンブリではない場合、ユーザーは [Sub-Part] (下位部品) のフィールドを空白にしておきます。

ALBANY PART												SUB-PART (LEVEL 2)					SUB-PART (LEVEL 3)						
Material	Part Weight Lbs/Kg/Avr	Subs Unit	Consolidated Part Name (if not Informational Only)	Component Temp Finish	Templ cap Bore Alloy	Minimum Manufacturing Temperature Rating (celsius)	Minimum Manufacturing Temperature	Minimum Time Temperatures	ASTM D2000 Resin Grade Level	ISO 1568 and Polymer Ergate	Engine Application	Year/ear Part Number (1)	Year/ear Part Level (2)	Year/ear Part Revision Date (3)	Year/ear Part Name (4)	Part Quantity Amount (5)	Part Quantity Unit (6)	Year/ear Part Number (7)	Year/ear Part Revision Level (8)	Year/ear Part Name (9)	Part Quantity Amount (10)	Part Quantity Unit (11)	
each	5																						
each	5																						
												Sub-Part	A	01-Jan-2012	SubPartNam e	5	each						
																		SubPartL evel3	A	01-Jan-2012	SubPartL evel1 Name3	5	each
												Sub-Part2	A	01-Jan-2012	SubPartNam e2	2	each						

すべての情報を入力したら、[Check Part Tree Data] (部品ツリー データのチェック) ボタンをクリックして、このタブがすべて適切に入力されていることを検証します。データのチェックが完了したら [Materials] (材料) タブに進みます。

## 完全宣言のみ: [Materials] (材料) タブ

[Materials] (材料) タブは、[Part Tree] (部品ツリー) タブ で定義された各最下位コンポーネントで使用される、均一な材料について文書化するために使用されます。材料ライブラリの材料は、[Part Detail] (部品詳細) タブのデータ入力中に最下位の各部品と照合されます。

**注意:** [Materials] (材料) タブは、[General Information] (一般情報) タブで [Material Declaration] (材料の宣言) が [Full] (完全) に設定されている場合にのみ表示されます。

詳細については、「表 3a [Materials] (材料) タブ - 材料のガイダンス」を参照してください。

表 3a [Materials] (材料) タブ - 材料のガイダンス (緑色の見出し)

列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
Material Name (材料名)	入力した部品の材料名を入力します。材料がわかるような名前にします (スチール、メッキ、ナイロンなど)。命名に関するガイドラインについては、該当する規格を参照し	必須

表 3a [Materials](材料) タブ – 材料のガイダンス (緑色の見出し)		
列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
	てください (スチール EN10027、プラスチック ISO1043、アルミニウム EN 573、エラストマー ISO 1629、サーモプラスチック ISO 18064)。	
Tradename (商品名)	材料の商品名を入力します。	オプション
Material Manufacturer Name (材料製造業者名)	材料の製造業者の名前を入力します。	オプション
RoHS Material Classification (RoHS 材料分類)	ドロップダウン リストから該当する材料分類を選択します。	必須
Applicable OEM or Requestor or Industry Specifications (該当する OEM、要求者、または業界の仕様)	この材料に関する該当する OEM または要求者の仕様リストを、引用符とカンマで区切って“oem:spec,” “oem:spec,” などの形式で入力します。該当しない場合は「N/A」と入力します。 <i>Motorola の例: W18 spec: Rev P</i>	必須
Pre-Consumer Recyclate % (消費前リサイクル材の割合)	消費前リサイクル材の割合を入力します。これは、さまざまな施設の製造プロセスによって生じた廃棄物の重量に対する、入力された材料の作成に使用された材料重量の割合です (製造プロセスから生じた金属くずを施設が外部ソースから調達して溶解し、入力された材料の一部を作成するために使用)。消費前リサイクル材の割合がわからない場合は「0」と入力します。	必須
Post-Consumer Recyclate % (消費後リサイクル材の割合)	消費後リサイクル材の割合を入力します。これは、消費者が使用して生じた廃棄物の重量に対する、入力された材料にリサイクルされた材料重量の割合です (ソーダのアルミニウム缶をリサイクルし、入力された材料の一部を作成するために使用。消費後リサイクル材の割合がわからない場合は「0」と入力します。	必須

表 3a [Materials](材料) タブ – 材料のガイダンス (緑色の見出し)		
列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
Contained Recyclate % As Released (公表された含有リサイクル材の割合) - (情報表示専用)	自動的に入力されます。消費前リサイクル材と消費後リサイクル材の割合の合計です。	自動入力
Contained Recyclate % As Measured (測定された含有リサイクル材の割合)	測定された含有リサイクル材の割合を入力します。通常、公表された含有リサイクル材の割合と同一になります。	オプション
Specific Gravity (比重)	材料の比重を入力します。	オプション

[Part Tree] (部品ツリー) タブで下位部品について入力した方法と同様、材料の物質（つまり、化学物質）も段階的に下がっていくように入力する必要があります。

MATERIAL										SUBSTANCE					
Material Name	Tradename	Material Manufacturer Name	RoHS Material Classification	Applicable OEM, Requestor, or Industry Specifications	Post-Industrial Recycle %	Post-Consumer Recycle %	Contained Recycle % As Released (Informational Only)	Specific Gravity	Substance Name	CAS Number	Substance Weight Amount	Substance Weight Unit	Substance Intentionally Added	RoHS Exemption	
test			Steels / cast steel / sintered steel												
			Lead Alloy						LEAD	7439-92-1	5	%	Y		
									(4-phenylbutyl)hydroxyphosphorylacetic acid	83623-61-4	5	%	Y	1 Mercury in compact fluorescent lamps not exceeding 5 mg per lamp	

表 4 の材料情報を入力した後で、[Substance Name] (物質名) 列に並んでいるセルのうち、入力した材料情報から 1 行下のセルをクリックします。目的のセルを選択すると、化学物質のポップアップ選択リストが表示されます。該当する化学物質を（名前または CAS で）検索して選択します。さらに 1 行下をクリックして別の化学物質を追加します。入力したすべての化学物質の合計が 100% になるか、100 万 PPM (パート パー ミリオン) になる必要があります。

Choose Substance

All Substances

Sort By: ☒ CAS ☐ Substance Name

Search:  Next

Direction: ☒ Down ☐ Up

CAS	Substance Name
100-00-5	1-CHLORO-4-NITROBENZENE
100-00-5	4-CHLORONITROBENZENE
100-00-5	P-NITROCHLOROBENZENE
100-01-6	4-NITROANILINE
100-02-7	4-NITROPHENOL
100-07-2	ANISOYL-CHLORIDE
1000-78-8	LUPRAGEN VP 9159
1000-78-8	N,N'-(2,2-DIMETHYLPROPYLIDENE)HEXAMETHYLENEDIAMINE
100-10-7	4-DIMETHYLAMINO BENZALDEHYDE
10017-56-8	ETHANOL, 2,2',2"-NITRILOTRIS-, PHOSPHATE (SALT)
10017-56-8	PHOSPHORIC ACID, TRIETHANOLAMINE SALT
10017-56-8	TRIETHANOLAMINE PHOSPHATE
10017-56-8	TRIHIDROXYETHYLAMMONIUM, SALT WITH PHOSPHORIC ACID
100181-71-3	ISOBUTYL 3,4-EPOXYBUTYRATE
100-21-0	1,4-BENZENEDICARBOXYLIC ACID
100-21-0	P-BENZENEDICARBOXYLIC ACID
100-21-0	TEREPHTHALIC-ACID
1002-16-0	N-AMYL NITRATE
1002-16-0	PENTYL-NITRATE
100-22-1	N,N,N',N'-TETRAMETHYL-P-PHENYLENEDIAMINE
10022-31-8	BARIUM DINITRATE
10022-31-8	BARIUM-NITRATE

OK Cancel

Check Materials Data

Overall Help Column Help

© Dassault Systems, 1993 - 2010. All Rights Reserved

Insert Blank Row Before Current Row Insert Blank Row After Current Row Clear Row(s)

Auto-Validation On

Copy and Paste – Either copy and paste an entire row or turn off validation to copy and paste selected cells.

MATERIAL								SUBSTANCE						
Material Name	Tradename	Material Manufacturer Name	RoHS Material Classification	Applicable OEM, Requestor, or Industry Specifications	Post-Industrial Recycle %	Post-Consumer Recycle %	Contained Recycle % As Released (Informational Only)	Specific Gravity	Substance Name	CAS Number	Substance Weight Amount	Substance Weight Unit	Substance Intentionally Added	RoHS Exemption
Material1			Others	N/A			0		1-CHLORO-4-NITROBENZENE	100-00-5	100	%	Y	
Material2			Others	N/A			0		LEAD OXIDE SULFATE (PB2O(S O4))	12036-76-9	100	%	Y	

詳細については、「表 3b [Materials] (材料) タブ – 物質のガイダンス」を参照してください。

表 3b [Materials](材料) タブ – 物質のガイダンス (青色の見出し)		
列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
Substance Name (物質名)	ポップアップ ボックスから物質を選択します (物質名または CAS 番号で検索)。 <u>入力した内容が間違っている場合は、そのボックスの外側をクリックして、プルダウンの [CAS Number](CAS 番号) メニューを再表示する必要があります。</u>	必須
CAS Number (CAS 番号)	Chemical Abstracts Service (CAS) 番号は、物質を選択すると自動的に入力されます。	必須
Substance Weight Amount (物質総重量)	物質の総量を % 値で入力するか、材料全体の PPM として入力します。	必須
Substance Weight Unit (物質重量単位)	前の列で入力した物質重量の測定単位 (% または PPM) をプルダウン リストから選択します。	必須
Substance Intentionally Added (意図的に追加された物質)	選択された物質が均一な材料に意図的に追加されている場合、「Yes」と入力し、そうでない場合は「No」と入力します。	必須
RoHS Exemptions (RoHS 適用除外)	選択された物質が規制物質である場合は、その用途に応じて、物質を非規制物質にする適用除外を要求できます。このセルをクリックすると、該当する適用除外リストがポップアップ リスト ボックスに表示されます。 この Excel スプレッドシートで取得される適用除外と、[Motorola Intelligent Query](Motorola インテリジェント照会) スプレッドシートで示される適用除外が “一致” することに注意してください。	オプション

材料および物質のすべての情報を入力した、[Check Materials Data] (材料データのチェック) ボタンをクリックして、このタブがすべて適切に入力されていることを検証します。 データのチェックが完了したら [Part Detail] (部品詳細) タブに進みます。



## 完全宣言のみ: [Part Detail](部品詳細) タブ

[Part Detail](部品詳細) タブは、[Material](材料) タブで入力した材料を [Part Tree](部品ツリー) タブで入力した最下位の部品と関連付けるために使用します。最下位の部品ごとに、少なくとも 1 つの材料を選択する必要があります。

**注意:** [Part Detail](部品詳細) タブは、[General Information](一般情報) タブで [Material Declaration](材料の宣言) が [Full](完全) に設定されている場合にのみ表示されます。

[Part Number](部品番号) の下のセルをクリックします。[Part Tree](部品ツリー) タブの最下位の部品がすべて列挙されたポップアップ リスト ボックスが表示されます。[Add Selected](選択項目を追加) をクリックして、スプレッドシートに部品を適用します。

**注意:** 一部のフィールドには、[Part Tree](部品ツリー) タブで入力した対応データが自動的に入力されます。該当する場合や必要な場合は、追加の部品情報を入力してください。

SALEABLE PART												
Motorola Solutions Part Number	Motorola Solutions Part Revision Level	Motorola Solutions Part Revision Date	Part Name	You/Your Part Number	You/Your Part Revision Level	You/Your Part Revision Date	You/Your Fabrication Plant	Measured Part Weight Amount	Measured Part Weight Unit	Measured Part Weight per Length/Area/Volume Unit	Computed Part Weight Amount (Informational Only)	Component
MSI-Part123	N/A	N/A	SuppPartNmABC	SuppPart #123				5	g	each		
MSI-Part456	N/A	N/A	SuppPartNmDEF	SuppPart #456				5	g	each		

詳細については、「表 4a [Part Detail](部品詳細) タブ - 部品のガイドンス」を参照してください。

表 4a [Part Detail](部品詳細) タブ-部品のガイダンス (赤色の見出し)		
列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
Your Part Number (自社部品番号)	ポップアップ ボックスから部品をクリックし、[add selected](選択項目を追加) をクリックします。 <b>注意:</b> [Part Tree](部品ツリー) タブで複数の最下位の部品が入力されている場合は、最初の部品を選択して必要なデータを入力し、残りの部品を続けて入力することをお勧めします。	必須
Part Revision Level (部品改定レベル) Part Revision Date (部品改定日) Part Name (部品名)	これらの情報は、[Part Tree](部品ツリー) タブで入力したデータが自動的に入力されます。	自動入力 (原材料サプライヤの場合は N/A)
Part Weight Amount (部品総重量)	部品の重量を入力します ([Part Tree](部品ツリー) タブで入力した重量と同じ)。	必須 (原材料サプライヤの場合は N/A)
Part Weight Unit (部品重量単位)	前の列で入力した物質重量の測定単位 (g、kg、または lb) をプルダウン リストから選択します。	必須 (原材料サプライヤの場合は N/A)
Part Weight per Length/Area/Volume Unit (長さ/面積/体積単位あたりの部品重量) - (情報表示専用)	市販の個別部品である場合は [each](各個) になります。[Part Weight Amount](部品総重量) が長さ、面積、または体積の関数である、ペンキ、接着剤、潤滑油などの市販のバルク品である場合は、適切な単位あたりの値になります。[Part Tree](部品ツリー) タブで実際の部品重量を指定した場合は、これが重量になります。	自動入力 (原材料サプライヤの場合は N/A)
CFCs(Chlorofluorocarbons)(CFC(クロロフルオロカーボン))	その部品の製造時に CFC(クロロフルオロカーボン) が使用されている場合は [Y] を、使用されていない場合は [N] を選択します。	オプション (原材料サプライヤの場合は N/A)
Recycling Code Standards(リサイクルコード規格)	適用されるすべてのリサイクルコード規格を選択します。規格の定義については、[Field Help](フィールドのヘルプ) ボタンをクリック	オプション (原材料サプライヤの場合は N/A)


表 4a [Part Detail](部品詳細) タブ-部品のガイダンス (赤色の見出し)		
列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
	クしてください。	

部品情報を入力したら、その部品情報の 1 行下で [Material Name] (材料名) 列の下に位置するセルをクリックし、ポップアップ リストから材料を選択します。 [Material Name] (材料名) ポップアップ リストは、[Materials] (材料) タブで作成された材料エントリから生成されることに注意してください。したがって、必要な材料がリストにない場合、これを [Part Detail] (部品詳細) タブの [Materials List] (材料リスト) ポップアップに表示させるには、[Materials] (材料) タブに追加する必要があります。

Check Materials Data

Overall Help

Column Help



© Dassault Systems, 1993 - 2010. All Rights Reserved

Insert Blank Row Before Current Row

Insert Blank Row After Current Row

Clear Row(s)

Auto-Validation On

Copy and Paste - Either copy and paste an entire row or turn off validation to copy and paste selected cells.

MATERIAL								SUBSTANCE						
Material Name	Tradename	Material Manufacturer Name	RoHS Material Classification	Applicable OEM, Regulator, or Industry Specifications	Post-Industrial Recyclate %	Post-Consumer Recyclate %	Contained Recyclate %, As Released (Informational Only)	Specific Gravity	Substance Name	CAS Number	Substance Weight Amount	Substance Weight Unit	Substance Intentionally Added	RoHS Exemption
Material1			Others	N/A			0		1-CHLORO-4-NITROBENZENE	100-00-5	100	%	Y	
Material2			Others	N/A			0		LEAD OXIDE SULFATE (Pb2O(SO4))	12036-76-9	100	%	Y	

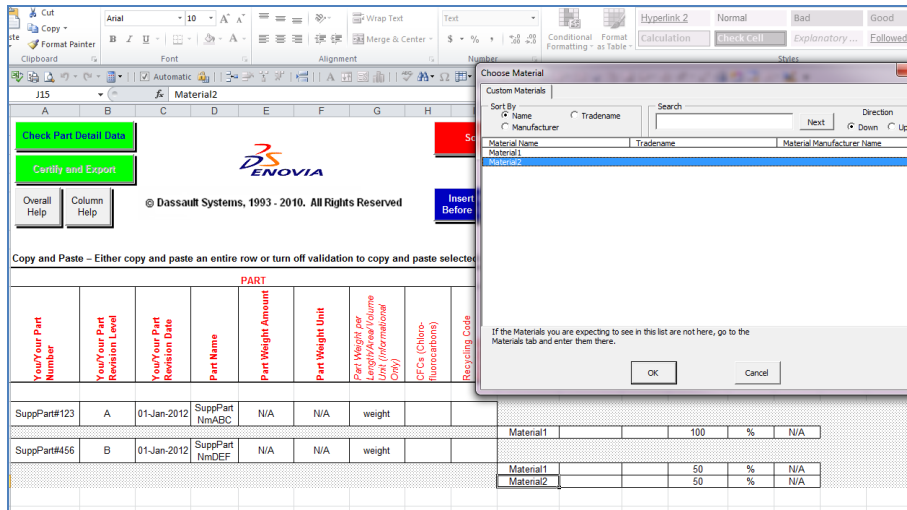


表 4b [Part Detail](部品詳細) タブ – 材料のガイダンス (緑色の見出し)		
列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
Material Name (材料名)	リストから 1 つまたは複数の材料を選択します。	必須
Trade Name (商品名)	フィールドは自動的に入力されます。	自動入力
Material Manufacturer Name (材料製造業者名)	フィールドは自動的に入力されます。	自動入力
Material Weight Amount (材料総重量)	部品に含まれる材料の総量を入力します。	必須
Material Weight Unit (材料重量単位)	前の列で入力した材料重量の測定単位 (%、g、kg、または lb) をプルダウン リストから選択します。	必須
Material Weight per Length/Area/Volume (長さ/面積/体積あたりの材料重量) - (情報表示専用)	フィールドは自動的に入力されます。	自動入力 (材料サプライヤの場合は N/A)

すべての材料を入力し終わるまで、利用可能な次の行をクリックし続けます (または [add row] (行を追加) ボタンをクリックします)。

すべての部品詳細情報を入力したら、[Check Part Detail Data] (部品詳細データのチェック) ボタンをクリックして、このタブがすべて適切に入力されてい

ることを検証します。データのチェックが完了すると [Certify and Export] (認証とエクスポート) ボタンが有効になります。このボタンをクリックして、次の手順に進みます。

## 部分宣言のみ: [Motorola Intelligent Query] (Motorola インテリジェント照会) タブ

[General Information] (一般情報) タブで選択した宣言レベルに基づいて、Excel ファイルは [Motorola Intelligent Query] (Motorola インテリジェント照会) タブを生成します。このタブには、[Part Tree] (部品ツリー) タブで入力したすべての部品が含まれています。これらの部品について、ユーザーは、[General Information] (一般情報) タブで選択した [Declaration Level] (宣言レベル) ごとに [Compliance Declaration] (コンプライアンス宣言) を指定できます。

**注意:** このタブは次の場合にのみ表示されます。

- [Material Declaration] (材料の宣言) = [Full] (完全) で、  
[Declaration Level] (宣言レベル) が空でない場合
- [Material Declaration] (材料の宣言) = [Partial] (部分) で、  
[Declaration Level] (宣言レベル) が空でない場合

[Part Tree] (部品ツリー) タブのすべての部品が、自動的に [Motorola Intelligent Query] (Motorola インテリジェント照会) タブに追加されます。一部のフィールドには、[Part Tree] (部品ツリー) タブで入力した対応データが自動的に入力されます。該当する場合や必要な場合は、追加の部品情報を入力してください。

SALEABLE PART				SALEABLE PART COMPLIANCE		
Year/Part Number	Year/Part Revision	Year/Part Declaration Level	Part Name	Compliance Declaration	Exemption	Compliance Definition
SuppPart123			SuppPartImAB C	Product meets the Thresholds listed in Specification 1202897W18(RevP) (Appendix C, Section 2) without any exemptions		MSI W18
SuppPart123			SuppPartImAB C	Product(s) does NOT contain REACH Substances Of Very High Concern above the limits per the definition within REACH		EU REACH
SuppPart456			SuppPartImDE F	Product meets the Thresholds listed in Specification 1202897W18(RevP) (Appendix C, Section 2) without any exemptions		MSI W18
SuppPart456			SuppPartImDE F	Product(s) does NOT contain REACH Substances Of Very High Concern above the limits per the definition within REACH		EU REACH

表 5 のコンプライアンスの定義（宣言文）を参照してください。

表 5 [Motorola Intelligent Query](Motorola インテリジェント照会) タブ- 宣言文 (青色の見出し)		
列名	情報の説明	ステータス (必須またはオプション)
Your Part Number (自社部品番号)	このシートの部品番号は、[Part Tree](部品ツリー) タブのデータに基づいて自動的に入力されます。	自動入力
Part Revision Level (部品改定レベル) Part Revision Date (部品改定日) Part Name (部品名)	これらの情報は、[Part Tree](部品ツリー) タブで入力したデータが自動的に入力されます。	自動入力
Compliance Declaration (コンプライアンス宣言)	セルのドロップダウンメニューをクリックし、選択した部品について作成するコンプライアンス宣言文を選択します。	必須
Exemptions (適用除外)	<p>コンプライアンス宣言文で対象部品に適用除外を使用することを要求する場合は、このフィールドに入力する必要があります。[Exemptions](適用除外) セルをクリックすると、選択肢が列举されたリスト ボックスがポップアップ表示されます。</p> <p><b>*** 注意事項: [MATERIALS](材料) タブで取得されるすべての適用除外は、 [MOTOROLA INTELLIGENT QUERY](Motorola インテリジェント照会) タブの [Exemptions](適用除外) 列の下にある、ここで一覧表示される適用除外と <u>一致する必要があります</u>。***</b></p> <p>複数の適用除外を追加するには、“Ctrl” キーを押しながら、その部品番号に必要な各適用除外をクリックします。</p>	必須

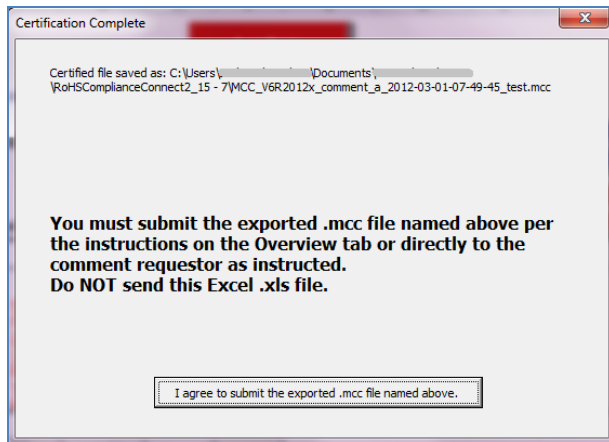
### 完全宣言または部分宣言: [Certify and Export] (認証とエクスポート)

すべてのデータ入力タブを入力して検証したら、[Certify and Export] (認証とエクスポート) ボタンをクリックします。[Certify and Export] (認証とエクスポート) ボタンをクリックすると、スプレッドシートで最終的なデータ検証チェックが実行され、ユーザーは入力したデータが可能な範囲で正確であることを認証するように要求されます。サプライヤーは、オプションで、[Certify and Export] (認証とエクスポート) プロセスを実行する前に、認証テキストを変更することができます。

認証手順が終了したら、コンプライアンス コネクト スプレッドシートで “.mcc” の拡張子を持つファイルが作成され、ユーザーのコンピュータの “.xls” ファイルが保存されている同じフォルダ内に自動的に保存されます。



注意：Excel スプレッドシートの場合によっては、[Optional additional text] (オプション追加テキスト) ボックスに 10 文字しか入力できません。これ以上文字を追加すると “Run Time Error: 1004” (実行時エラー: 1004) が発生し、フォームがロックアップされます。このような問題を回避するため、認証とエクスポートのプロセス中に、スプレッドシートの作業用コピーをデスクトップに保存しておくことをお勧めします。



“.mcc” ファイルは、**要求者に送り返す**必要があります。“.mcc” ファイルは認証されて読み取り専用になります。したがって、送信データは保護され、要求者が変更することはできません。“.mcc” ファイルは非常にサイズが小さいので、電子メールで簡単に送信可能です。

## [Utilities] (ユーティリティ) タブ

### タブ区切りのテキスト ファイルのインポート

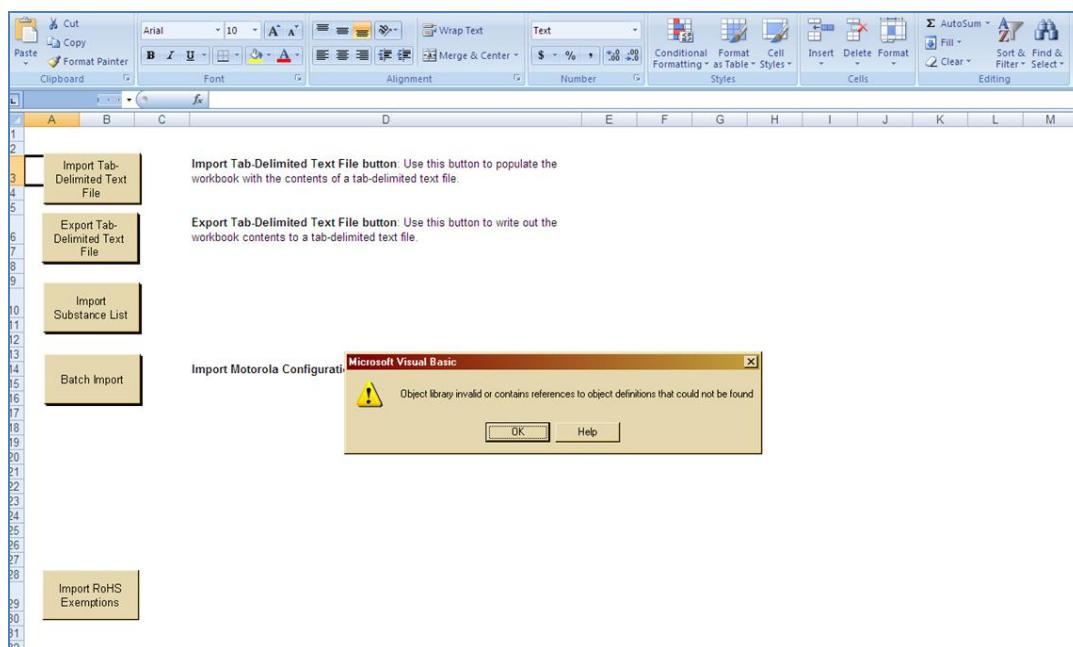
この機能は、材料ライブラリ情報などのデータをスプレッドシートに入力する場合に役立ちます。

次に、サプライヤがコンプライアンス コネクト ファイルへインポートする場合に使用できる、Motorola Solutions から受信したタブ区切りのテキスト ファイルの例を示します。

Worksheet		General Information		RoHS	17				
Moto	N	Full	REACH,RoHS	abd	Test2	External	1	1	1
	1	Moto_123_UniqueID							
End	Worksheet								
Worksheet		Part Tree		RoHS	17				
1	a	01-Jan-2012	a	1	1	01-Jan-2012		5	g
	each	5							
2	a	03-Jan-2012	b	2	1	03-Jan-2012		1	g
	each	1							
5	a	01-Jan-2012	e	5	1	01-Jan-2012		1	g
	each	1							
End	Worksheet								

#### 注意事項:

“タブ区切りのテキスト ファイルのインポート” を試みている最中に、ユーザーが次に示す問題/エラー メッセージに遭遇した場合は、非表示の .exd キャッシュ ファイルが原因です。



このエラーを解決するには、.exd ファイルを削除する必要があります。これは、.exd ファイルには Microsoft Office ファイルとともにインストールされたコントロールに関するキャッシュ情報が保存されているためです。.exd ファイルを削除するとファイルの処理速度が速くなります。これらのファイルの場所はオペレーティング システムごとに異なり、インストールされている Office のバージョンによっても異なります。コンピュータのキャッシュからこのファイルをクリアする正確な手順については、30 ページを参照してください。

### タブ区切りのテキスト ファイルのエクスポート

---

この機能は、将来、別のコンプライアンス コネクト スプレッドシートで使用するため、材料ライブラリ情報などのデータを抽出する場合に役立ちます。

ユーザーは、コンプライアンス コネクト スプレッドシートに入力してから、[Export Tab-Delimited Text file] (タブ区切りのテキスト ファイルのエクスポート) を使用できます。

### Motorola 構成ファイルのインポート

---

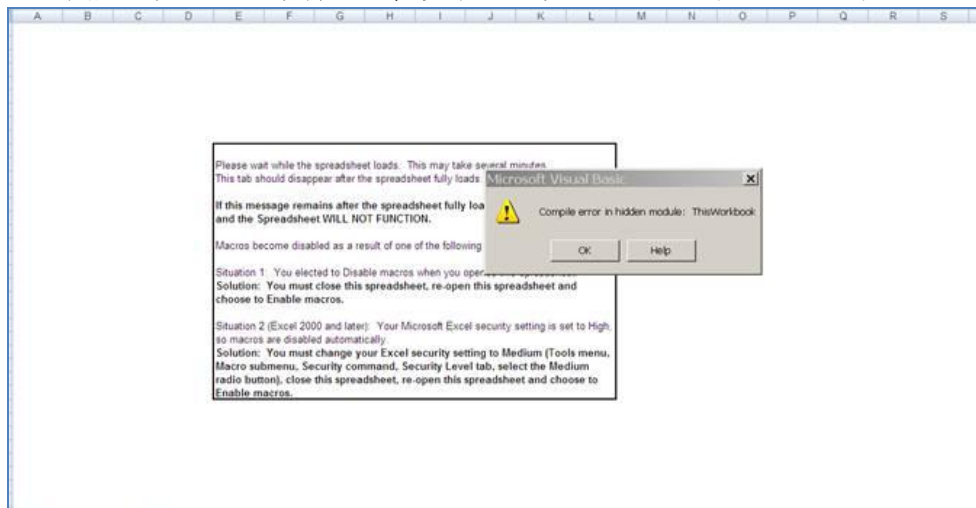
物質リストは、追加の物質に対応するため、定期的に更新される可能性があります。ユーザーは、Motorola 構成テキスト ファイルをインポートし、[Batch Import] (一括インポート) ボタンをクリックして適切なパスワードを入力し、ファイルをインポートできます。構成インポート ファイルの内容については、Motorola Solutions の CC Import Data File.doc で詳細を参照してください。

## トラブルシューティングに関する FAQ

### VB コンパイル エラー

これはファイルが破損している場合、あるいはオペレーティング システム /Office の更新によって生じることがよくあるエラーです。

この問題が発生した場合には、以下のようなエラーメッセージが表示されます：



#### ステップ 1:

このエラーを解決するには、.exd ファイルを削除する必要があります。 .exd ファイルには、高速処理に対応するために Microsoft Office ファイルにインストールされたコントロールに関するキャッシュ情報が保存されています。これらのファイルの場所は、オペレーティング システムによっても、インストールされている MS Office のバージョンによっても異なります。

以下の手順に従ってこの問題を解決します：

1. Excel 文書をすべて閉じます。
2. Windows Explorer で、[コンピューター] に移動します。
3. 拡張子が .exd のファイルをすべて検索します（ファイル名を \*.exd で検索）。
4. 拡張子が .exd のファイルをすべて削除します。
5. Compliance Connect スプレッドシートを開きます（マクロを再度有効にする必要がある場合があります）。

これらの ".exd" ファイルは、コンピュータのハード ディスク ドライブ上の隠しファイルです。 ご使用のコンピュータの設定と権限の種類によっては、以下の操作を実行できない場合があります：

1. 拡張子が .exd のファイルの検索
2. 拡張子が .exd のファイルの削除

このような状況の場合、管理者アカウントで上記の操作を実行できる貴社の IT 管理者/ヘルプデスクに連絡してください。

#### ステップ 2:

Microsoft Excel 2007 を実行している場合は、Microsoft が配布している以下のパッチを実行します: <http://support.microsoft.com/KB/2687441>

Microsoft Excel 2010 を実行している場合は、Microsoft が配布している以下のパッチを実行します: <http://support.microsoft.com/kb/2598039>

#### ステップ 3 (必要な場合):

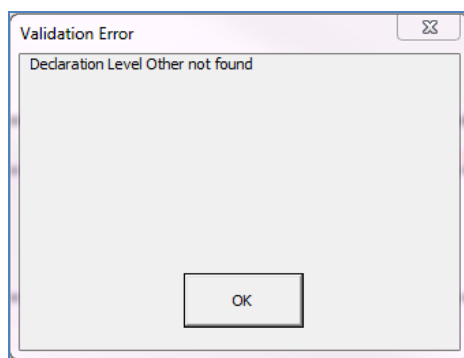
Microsoft Excel 2010 の 32 ビット バージョンを実行していて、ステップ 1 およびステップ 2 でエラーが解決されなかった場合は、以下の追加の Microsoft パッチをダウンロードしてください: <http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=30622>

ステップ 1 からステップ 3 のいずれでも問題が解決されない場合は、MSI に連絡してサポートを受けてください: [W18submittal@motorolasolutions.com](mailto:W18submittal@motorolasolutions.com)

### 宣言レベルの検証エラー

---

事前入力済みのファイルをスプレッドシートにインポートしている最中に、次のエラーが表示される場合があります。



このエラーは、ユーザーがスプレッドシートに存在しない/定義されていない宣言レベルを使用して、事前入力済みのファイルをインポートしようとしたときに発生し、ユーザーはインポート プロセス中に次のエラーに遭遇します。この場合、インポート プロセスは中断し、最後まで実行されません。事前入力済みのファイルを開いて宣言レベルを修正し、ファイルを再インポートしてください。